

平成 18 年 12 月 19 日

中部飼料株式会社

平成 19 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 19 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 18 年 10～12 月期に対し、全畜種平均トン当たり約 5,600 円値上げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

オーストラリアの旱魃による小麦減産を機に穀物全体の価格が上昇いたしました。とうもろこしのシカゴ定期はエタノール需要の伸びによる在庫量の減少予測により相場は暴騰いたしました。9 月中旬 ¥260 台から 12 月初旬 ¥390 まで上昇し、現在 ¥370 台で推移しております。1-3 月期とうもろこし価格は 10-12 月期に比べ大幅な上昇が見込まれます。

蛋白原料

大豆油粕のシカゴ定期は米国の順調な作柄から 10 月中旬 \$160 台でしたが 10 月後半より米国大豆の作付面積減少見通しから値上りし \$180～190 台と高値で推移しております。1-3 月期の大豆粕価格は 10-12 月期に比べ大幅な値上げが見込まれます。

魚粉価格は夏以降、ペルーの漁獲枠削減と中国の旺盛な需要から暴騰しましたがその後は高値が続き、1-3 月期価格は 10-12 月期比横ばいと見込まれます。

海上運賃

米国ガルフー日本のパナマックス型海上運賃は①中国の前年比 2 割増と安定した鉄鉱石輸入 ②インドの小麦大量輸入等世界的な堅調な荷動きから \$ 50 台後半で推移しております。1-3 月期は 10-12 月期に比べ大幅な値上げが見込まれます。

外国為替

1-3 月期の外国為替は 10-12 月期とほぼ同水準での推移と見込まれます。

以上

* お問い合わせ先

中部飼料株式会社 経営企画部（田中） TEL：0562-33-2103